

第30回青少年文化体験フェスタ開催される

青少年文化体験フェスタ実行委員長 小川 豊子

令和4年7月2日(土)狭山市立入間川小学校を会場に、入間川小・入間川東小・柏原小・広瀬小・水富小・笹井小の6校の児童を対象として開催した。昨年度から、コロナ感染拡大防止を考慮して小規模開催で実施しており、対策は検温・消毒・換気等徹底して行った。対象の6校には事前に青少年文化体験フェスタの目的を校長先生に伝えて協力を依頼し、その後の募集用紙の配布や回収などの協力をいただいた。

各講座は、指導内容に工夫がなされ、体験終了後の子供達の顔がとても満足気であった。小規模開催とはいえ、体験講座数は9講座、体験希望者73名と少なく、今後講座数を増やすことや、児童の興味・関心のある内容の講座を増やし参加を働きかけていくことなどを考えたい。多くの方の協力で開催できていることに感謝である。



日本舞踊のおけいこ(指導:狭山市日本舞踊連盟)



おこを弾いてみよう
(指導:狭山市三曲連盟)



いけばな(指導:狭山市いけばな連盟)

令和4年度狭山市民文化祭参加報告(市民会館会場)

無事に終演できました・・・

狭山市新舞踊連盟 会長 藤寿 紫峰

10月16日(日)第26回新舞踊「花の会」を小ホールで開催いたしました。当日は大ホールでの有名人のコンサートと重なり、駐車場は?と心配になりましたが、やはり早い段階で満車となりました・・・

市民会館では入場者数の制限がなくなり、ホッとしておりましたが、受付では、昨年と同じくテーブルを4台出して、ご来場いただいた方々にお名前や連絡先の記帳をしていただき、プログラムはご来場者ご自身で取って会場に入っていました。

一昨年からはコロナ感染予防の為に公共施設の使用ができず、練習はもちろん会議も無し。楽しみを奪われてしまった会員達は「先が見えない!」その為に会員数もかなり減ってしまいました。今回は33演目で11時に開演し14時30分過ぎには終演という寂しい開催ではありましたが、会員達は一生懸命に舞台を努めていました。子ども会員(体験フェスタ参加者)達も朝9時から準備のお手伝い。舞台袖ではドキドキしながら出番を待ち、踊り終わるとニコニコしながら舞台袖に戻ってきます。会員の中には2演目また3演目に出演し舞台を盛り上げてくれる者も。また、最初から最後まで子ども会員の親御さん達がスタッフとして協力して下さい、とても助かりました。



皆さんのお力を借りて無事に終演する事ができ、感謝です。来年は10月8日(日)になりますが、無事に開演できることを願っています。

第45回定期演奏会を終えて

狭山市三曲連盟 会長 竹迫ミナミ

秋晴れの好天に恵まれコロナ・インフルエンザも何のその・・・との意気込みで10月30日、小ホールにて狭山市民文化祭参加第45回三曲連盟定期演奏会を開催出来ました。

市長小谷野様始めご来賓の方々より身に余るお言葉をいただき、ご来場の皆様の暖かい拍手に励まされ、盛会のうちに無事終えることが出来ました。時代の流れと共に全国的に伝統文化の継承が難しくなる昨今、世代間の違いに戸惑いながら、どこからか救世主が現れて邦楽のブームが起こり現状を救ってくれないかな～と棚ぼたを期待してしまいます。

出演した子供達の演奏の成長ぶりに、もしかして”救世主現わる”かも、などと期待しながら、気持ちは既に次回46回(令和5年10月29日)に想いを馳せております。感染のリスクを押してご来場下さいました皆様にも心からの感謝を申し上げ、開催報告と致します。

